

美里町



馬上蛸崎神社と後藤黒



仙台城の有名な騎馬像。政宗公の跨る馬に関する
言い伝えがあります。美里町内不動堂ふどうどうの地を治めた
仙台藩宿老の後藤家。その初代に孫兵衛まごべえ信康のぶやすという
武将がいました。信康は、百姓のぶやすの新蔵しんぞうが飼う黒毛の
馬があまりに素晴らしいので、主君政宗公に献上し
ました。政宗公はたいそう喜ばれ、「後藤黒ごとうぐろ」とい
う名を付けて、たいへん可愛がりました。

後藤黒は政宗公とともに戦場を駆け巡り、連戦連勝の功を上げましたが、年
老いてしまい、大阪の陣には連れていってもらえませんでした。残された後藤
黒は深く悲しみ、仙台城の崖から身を投げて死んでしまいました。大阪から戻
った政宗公は、その死を悼いたみ、落ちた蛎崎かきざきの地に祀まつってその霊を慰めました。

明治初期に、信康と新蔵の子孫がその御霊みたまを分けて持ち帰り、不動堂にもお
社を建立しました。今なお「馬上蛎崎神社ばじょうかきざきじんじゃ」として大切に祀られています。